

マネジメント講座

RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション)の本質は最先端のテクノロジーではなく我々にとって都合のよい労働・人材技術(デジタルレイバー)であり、経営に与えるインパクトを証明してきた。しかし本質を理解しないまま、イメージで評価や活用することで様々な論点や事象が飛び交っている。

「RPAは人の仕事を奪うのか」という畏怖、「単なる(エクセルの)マクロでは」という初步的な疑問、「稼働停止した時に業務がパニックに陥るのでは」など、ふに落ちない声を挙げればきりが無い。我々はこの新しい技術をどのように捉え、活用していくべきかを過去の習慣にとらわれることなくゼロベースで思考すべきである。

私の所感を述べる。RPAは我々人間の貴重なエネルギーを無駄で不要な雑用に費やす労働環境から解放する。加えて老

3つの楽しさをもたらす

若男女問わず全ての人の直感やアイデアを思う存分に発揮できる、極めて楽しい環境を大衆的に醸成する経営技術だ。

この新しい協働を当たり前のように習慣化・全社展開し、生産性の革新にとどまらず、ビジネスモデルを進化する企業が日々誕生している。

その共通項である「楽しい」事象を因数分解する。①我々が毎日自己実現にまい進できるといふ仕事の楽しさ②物心両面において豊かになるといふ生活の楽しさ③ビジネスのみならず日本全国で抱える課題が解決・実現されるといふ社会の楽しさ——に大別される。大げさかもしれないが、その楽しさをシェアすることにより業界や地域というエリアでイノベーションが加速されていく。

次節以降、これら3つの楽しさと日本全国に普及していく事象を、事例を通じて実感してもらいたいと考えている。

(RPAテクノロジーズ 代表取締役社長 大角暢之)

RPA入門 ⑤

楽しさ!~何が楽しいのか


